

たてし

生きがいとふれあいに満ちた心豊かな暮らしのあるまち 館腰



竹細工の視察研修に参加して

交流活動副部長 小田輝子

10月25日(日)交流活動部会の事業として今後計画している竹細工づくりに併せて、福島県喜多方市雄国おくににある雄国根曲竹保存会を視察してきました。雄国では根曲竹という原料を細く薄く加工して竹ひごを作り、それを編んでザルや籠を作っていました。私たちがベテランの先生に教わりながら籠をつくってみました。思った以上に難しく、竹が思うように動いてくれません。きれいに編めません。時間が足りません。私の籠はほとんどが先生の作品になってしまいました。笑笑。この辺りにある竹とは種類が違っし、同じようなことはできないかもしれませんが、竹を活用して何かできるかもしれないというヒントを見いだせた気がしました。とても有意義な秋の1日でした。



体験の様子



体験で作った籠

保存会の皆さんの作品

11/8(日) 塩野町まち協 フリーマーケット



旧塩野町小学校にて行われた塩野町まち協のフリーマーケットに参加してきました。今回、館腰まち協は飲食ブースにおいて、半ごろし焼き80本、朝日豚の串焼き80本、もつ煮100食を販売しました。当日は天候にも恵まれ家族連れでにぎわい、開始から2時間ほどで完売となりました。

もつ煮は程よい味わいに追加注文する方もいて大好評。朝日豚の串焼きは場数を重ねるごとに焼き加減が上達して、おいしくふるまうことができました。一方、半ごろし焼きは新調したガス式の串焼き機により、きれいな焦げ目ができたものの表面が少し硬くなってしまう次回へのリベンジを誓い合いました。同じ朝日地区で活動する協議会同士、これからも親交を深めていきたいと思えます。(高橋 慎)

地域の歴史資料

「塩の道」柳生戸街道

〜日本海から物資を運ぶルート〜

小揚 須貝 誠一



慶長2（1597）年「瀬波郡絵図」に大峠「柳生戸ヨリ是迄二里、小国の人里迄二里、馬八不能成候」とある。この道は慶安3（1650）年米沢上杉藩主上杉綱勝氏と村上藩主本田忠隆氏の時に、置賜と越後を結ぶ街道として造られたようだ。江戸時代、村上藩と米沢藩の交易ルートとして往来が盛んだった「塩の道」柳生戸街道は、小揚から小国町荒沢集落までの約24kmの道程である。当時村上から米沢へ運ばれた塩、茶、鉄や海産物などは下り荷と呼ばれ、一方米沢からは、青芋（あおそ）、カラムシ（塩沢、小千谷の越後上布）、灰荷（あくに）、灰（山辺里織の染料）、米、煙草が運ばれ、上り荷と呼ばれていた。

柳生戸集落が移転するまで、毎年8月13日に柳生戸と荒沢の両集落で互い県境までこの道を整備していた。小揚集落の入口には「右米沢道」の碑があり、文政3（1829）年3月とある。また、柳生戸集落から300m上流には「牛馬為安通」の碑もあり、天保7（1837）年8月と刻まれており、その当時に最も往来が盛んだったと考えられる。当時柳生戸集落には番所が置かれていて、現在も柳生戸集落（古渡路）には番所という屋号がある。



ブナの原生林の中に残る先人の造ったこの「柳生戸街道」を文化遺産として保護、保存するため、平成元年12月、小国町6ヶ字と小揚集落とで「塩の道保存会」を結成し、心と文化の交流を深めるため毎年県境まで下刈りをし、整備保存に努めてきた。今年4月には交流してから30周年を迎え記念事業も計画していたが、融雪災害のため小揚と柳生戸線（市道）が陥没や決壊で通行止めになっている。市道が開通したら荒沢集落とあらためて記念事業について協議することになっている。



朝日地区5つのまち協で

合同研修会を実施しました

9月〜11月に3回に渡って各まち協5人づつ計25人と事務局5人が出席し、役員同士でまち協の心配ごとや困りごとを共有することができました。役員のなり手がいない、若者や住民の参加が少ない、事業のマンネリ化、住民のニーズに合っていない、などグループワークで出された課題についてその原因を深堀り。そして解決のため手の打ちどころの1つとして、5つのまち協が合同で事業を行うことも必要ということで、5まち協合同で取り組む事業のアイデアを出し合いました。



まずは住民のニーズ把握が必要、桜+竹灯籠まつりや収穫祭など合同イベントの開催、移動販売や高齢者の移動支援と見守りなど多くのアイデアが出されました。これらのアイデアは今後まち協の取り組みを進めるうえでとても参考になりました。有意義な研修でした。

INFORMATION

スイーツ作り
体験を
開催します



前回とても好評だったロールケーキ作りにお応えし、第2弾、来年1月下旬にシュークリームに挑戦するスイーツ作りを企画します。みんなで楽しく作って食べて交流も深めましょう。

日時など詳しくは1月にチラシでお知らせしますので、お楽しみに！



館腰地域まちづくり通信 33号

[2020年12月15日発行]

発行：館腰地域まちづくり協議会

事務局：〒958-0292 新潟県村上市岩沢 5611 番地
(村上市朝日支所 地域振興課内) Tel.0254-72-6881

mail as.shinko-chiiki@city.murakami.lg.jp

Facebook や HP でも活動の様子を公開しています

Facebook <https://www.facebook.com/tatekoshi>

HP <http://www.city.murakami.lg.jp/site/tatekoshi/>



編集後記

最近 NHK E テレのテレビ体操で眠い体を起こすことが朝の習慣です。ほんの10分間、軽いストレッチやラジオ体操をするだけなんです、画面を真似してメリハリをつける動きをすると、軽く汗ばむことがあります。先日人間ドッグで体力測定をしてみたところ、案外いい数値がでたのもこのせいかも。これから始まる冬の朝は、除雪かテレビ体操か？運動不足にはならなそうです。(総務広報部会 Y.N)

